

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平1-81373

⑬ Int.CI.
B 62 D 3/12識別記号 廷内整理番号
8009-3D

⑭ 公開 平成1年(1989)5月31日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ラツクアンドピニオン歯車装置

⑯ 実願 昭62-179252

⑯ 出願 昭62(1987)11月24日

⑰ 考案者 栗原 隆 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内

⑱ 出願人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑲ 代理人 弁理士 有我 軍一郎

⑳ 実用新案登録請求の範囲

支持体に回転自在に支持されたピニオンと、該ピニオンと噛合し、ピニオンの回転によつて軸方向に移動するとともに、噛合圧力が高まると噛合深さが浅くなる方向に変位可能なラツクと、該ラツクに転がり接触してラツクを支持できるよう支持体に支持された転がり支持部と、を備えたラツクアンドピニオン歯車装置において、前記転がり支持部が、支持体に支持された支持部材と、ラツクに略直交するよう支持部材に支持されたローラ軸と、ローラ軸に回転自在かつ軸方向に移動可能に支持され、前記ラツクの変位によつて軸方向に移動するようラツクを挟んで配置された少なくとも一対のローラと、該ローラがラツクの背面側に転がり接触するようローラに付勢力を与える弾性部材と、ローラの所定量移動後にラツク背面に摺接してこれを支持する摺接部材と、を有すること

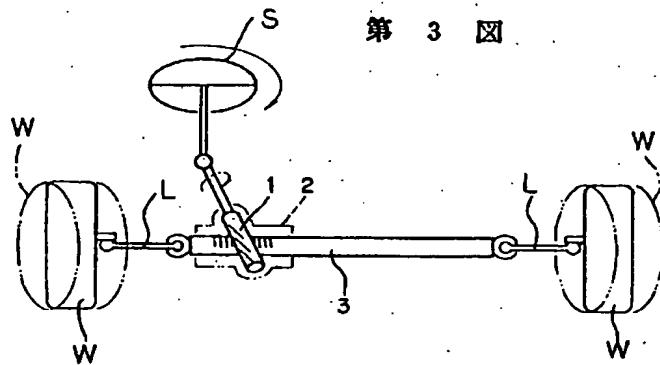
を特徴とするラツクアンドピニオン歯車装置。

図面の簡単な説明

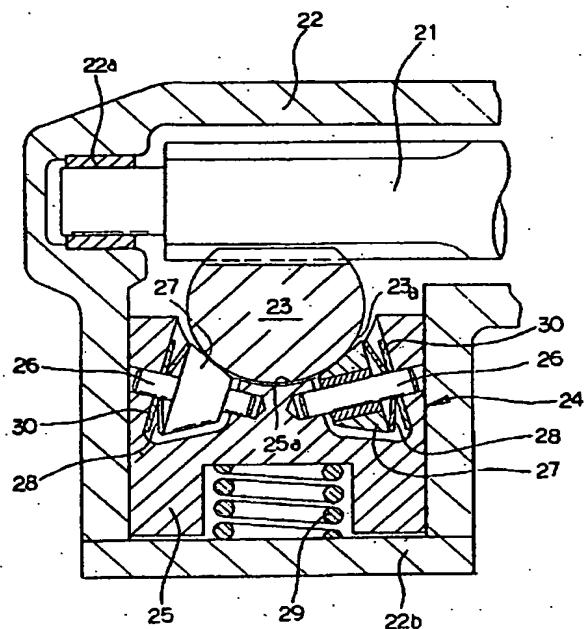
第1、2図は本考案に係るラツクアンドピニオン歯車装置の一実施例を示す図であり、第1図はそのラツクアンドピニオン歯車装置の正面断面図、第2図はその転がり支持部の平面図、第3～5図は従来のラツクアンドピニオン歯車装置を示す図であり、第3図はそのラツクアンドピニオン歯車装置を用いた操舵システムの全体構成図、第4図はそのラツクアンドピニオン歯車装置の正面断面図、第5図は従来の別のラツクアンドピニオン歯車装置を示すその正面断面図である。

21……ピニオン、22……ハウジング(支持体)、23……ラツク、23a……円曲背面(背面)、24……転がり支持部(支持部材および摺接部材)、25……支持部材、26……ローラ軸、27……ローラ、28……弾性部材。

第3図

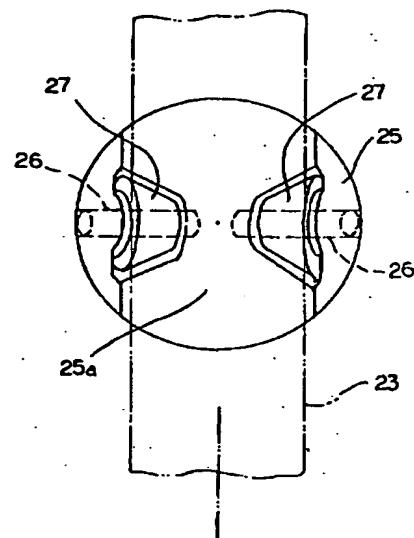


第 1 図

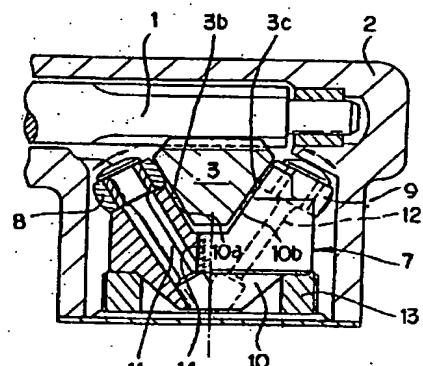


21: ピニオン
 22:ハウジング(支持体)
 23: ラック
 23a: 円曲背面(背面)
 24: 転がり支持部
 25: 支持部材及び接合部材
 26: ローラ軸
 27: ローラ
 28: 弾性部材

第 2 図



第 5 図



第 4 図

